

北野だより

～雨の降る日も風の日も 心に太陽 知をみがく～

「自らの未来を拓く心豊かで自立した生徒の育成」

京都市立北野中学校 校長 立垣 典子

「自分を育てるのは自分」

東井義雄氏の言葉

今年度当初から生徒の皆さんには、折に触れて「自分で自分を育てるように」と伝えてきました。新年度が始まり2ヵ月が経過。6月に入って、各学年が取り組む活動において、特に「自分を育てるチャンス」がありました。

チャレンジ体験に臨む2年生には、「自分を育てる」秘訣として、「苦手なこと・嫌なことから逃げないでチャレンジすること」を求め、修学旅行に臨む3年生には「自分自身の行動と感情を場の状況に合わせて判断すること、自分をコントロールすること」を求めました。そして、地域探検に向かう1年生には「自分の考えを主張する」だけでなく、他者がどのような考えをもっているのかに耳を澄ますことを求めました。

さて、皆さんはどんな体験を重ね、自分を育てるために奮闘したのでしょうか。目には見えづらくともなにがしかの成長を遂げたのではないかと期待します。この後、各学年はそれぞれの振り返りと学んだことの発信活動を行うことになっています。皆さんの発信を楽しみに待ちたいと思います。

では、改めて、「自分を育てる」ために、どんなことができるといいでしょうか。

まずは、次の2つのことから始めてみてはどうでしょう。

◎自分を理解する

自分の強みと弱みとは何なのか。ありたい自分、なりたい自分とはどんな姿なのでしょう。ダメな自分も受け入れることから始め、「自分らしさ」を見つけていけるといいですね。

◎場と状況に応じて適切に判断し行動する力付ける。

これは、本校の教育目標と関連して設定している「付けたい力」の一つです。例えるとすると、「自転車をこいで目的地に向かうとき、ペダルをこいだり、ハンドルを切ったり、危険を察知してブレーキをかけたりする」ように、皆さん自身が、その場の状況を判断し、適切な行動を積極的に表出したり、あるいは状況に合わせて行動を抑制したりすることができる力と言い換えてもいいでしょう。

時に失敗もしながら、反省して立ち上がり、再びチャレンジする、そんな「自分で自分を育てる」日々にしましょう。

冒頭の「自分を育てるのは自分」という言葉は、東井義雄先生という兵庫県の教育者のものです。他にもいくつもの言葉を残しておられます。「世界でただ一人の私を、どんな私に仕上げていくか。その責任者が私であり、皆さん一人ひとりなんです。」

令和7年度双樹プロジェクト（第1回学校運営協議会） 5月14日

令和7年度双樹プロジェクト（第1回学校運営協議会）を実施いたしました。お出ましにくい時間にもかかわらず、理事の皆様にお集まりいただきありがとうございました。

協議会においては、今年度の北野中学校の経営方針や学校の様子をご説明することから始め、本校が教育活動を進めるうえで、課題としていることやご相談したいことを共に議論していただきました。特に生徒が取り組んでいる「校則の見直し」についてご意見をいただくことができました。

皆様が北野中を応援してくださる思いを受け止め、大変ありがとうございました、心強い思いがいたしました。今後も引き続きよろしくお願ひいたします。

また、23日には、双樹プロジェクトの取組のひとつである「北中校区クリーンアップ」を実施しました。ごみを拾ったり、雑草を抜いたりという取組から帰ってきた生徒は「しんどかった～」と言いつつも達成感のある様子でした。



また、地域の人に声をかけてもらったという生徒もいました。

自分たちの住む地域を大切に思う気持ちをもつことができたようです。

温かく見守っていただきありがとうございました。

そして、生徒の皆さんお疲れさま。



非行防止教室 5月20日

京都府警本部から京都市教育委員会生徒指導課へ出向されている堀田様に講師をお願いし、全校生徒を対象としてお話ししていただきました。様々な課題に目を向けられるようにと網羅的に話していただいたので、生徒は、気なることや新しく知ったことなど、それぞれの気づきがあったことと思います。



3年生 修学旅行「いって九州 修学良後」 6月4日～6日

前日までの雨もすっかり止んで、快晴の三日間となりました。

長崎市牧島⇒伊王島⇒長崎市街⇒佐賀県鹿島市へと場所を移しながら、修学旅行に行ってきました。参加した生徒は自身の五感をフルに働かせ、自分の目で見て、聴いて、嗅いで、味わって、触ってという体験を重ねました。

クラスごとに異なる掛け声で、心を合わせたペーロン体験、黙とうをささげた平和祈念公園、原爆資料館に自分たちで歩いた長崎市街。最後は有明海にも踏み込んでミニガタリンピックまで開催しました。

様々な取組、小さな、あるいは大きなアクシデントも前向きに捉えようとする皆さんの気持ちを随所で垣間見ることができました。

君たちの旅行で出会った人や触れ合った方たち、サポートしてくださったスタッフの皆さんを含め、いろんな方に感謝の気持ちをもつことができたらと思います。



2年生 課題解決に向けて 生き方探究チャレンジ職場体験 6月3日~6日

4日間にわたって、2年生は職場体験へ行きました。

単なるお仕事体験、社会勉強で終わらせるのでは、受け入れてくださった方々に申し訳ない。嫌なことやしんどいことにも挑戦し、自分を成長させる日々にしようと、言葉通りの「チャレンジ」を行ってきましたね。4日間を通して、君たちが何に気づき、何を考えたのか。その発信を楽しみにしています。



25の事業所の皆様が、私たちに学びの場を提供して下さいました。お世話になり、ありがとうございました。

1年生 フィールドワーク「地域の果てまで行ってQ」 6月5日

1年生は地域へ出かけるフィールドワークを行いました。慣れ親しんだ地域をいつもとは違う視点で見つめる取組はいかがでしたか。今後は、今回の気づきを、相手意識をもって他者に発信すること、他者の発信に耳を寄せるに取り組みます。皆さんのお気づきに期待します。



避難訓練2回目 6月13日

今年度2回目の避難訓練を行いました。今回の訓練は、「水害」の発生に対する備えとして、避難経路の確認を行うというものでした。

6月から9月にかけては「出水期」といって、梅雨前線や台風の影響による豪雨で河川の氾濫や洪水、土砂災害の危険が高くなる時期です。台風等による大雨で河川が氾濫するというのは、京都においても実際にこの数年で起こっています。特に大きかったのは今から7年前、7月に嵐山で大きな氾濫が、また、2年前の5月には天神川があふれ、丸太町通りが冠水ということもありました。

決してどこかよそで起きている災害ではありません。この訓練を機に、想像力を働かせ、場と状況に合わせて考える力をつけていきたいものです。



《7月行事予定》

日	曜	学校行事	給食
1	火	学習確認プログラム（2年）	○
2	水		○
3	木		○
4	金		○
5	土		
6	日		
7	月	代議各種委員会	○
8	火		○
9	水		○
10	木		○
11	金	三者懇談会	○
12	土		
13	日		
14	月	三者懇談会	○
15	火		○
16	水		○
17	木		○
18	金	I 学期終業式	×
19	土		
20	日		
21	月	海の日	
22	火		
23	水		
24	木		
25	金	夏季補習補充講座	
26	土		
27	日		
28	月	夏季補習補充講座	
29	火	夏季補習補充講座	
30	水		
31	木		

【夏季休業期間】

7月19日（土）～
8月25日（月）

【学校閉鎖期間】

8月7日（木）～
8月19日（火）

【2学期 始業式】

8月26日（火）

《8月行事予定》

日	曜	学校行事	給食
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	山の日	
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水	よんきゅう絆プロジェクト夏季合同研修会	
21	木	サマーキャンプ（1組）	
22	金	サマーキャンプ（1組）	
23	土		
24	日		
25	月		
26	火	2学期始業式 身体計測 視力検査 課題テスト	×
27	水		○
28	木		○
29	金		○
30	土		
31	日		